

■矢内原忠雄 植民政政策学者，キリスト教伝道者。言論弾圧で東大教授を辞任，戦後復帰し総長，大学自治確保に尽力。

やないはらただお

郡司千島探検1893＝

愛媛県越智郡富田村(今治市)で，医師矢内原謙一の四男に生まれる。母はマツエ。

日清戦争始・1894＝ 1歳：

子規句歌革新1898＝ 5歳：富田尋常小学校に仮入学。

教科書疑獄・1902＝ 9歳：河南高等小学校に入学。

日露戦争始・1904＝11歳：神戸市立雲中尋常高等小学校に転入学，

日露戦争終・1905＝12歳：兵庫県立神戸中学校に入学。

韓国併合・・1910＝17歳： 第一高等学校一部甲類入学。校長の新渡戸稲造に私淑，
大逆事件判決1911＝18歳： 内村鑑三の聖書研究集会に入門して，キリスト教無教会派の影響を受け，
明治天皇没・1912＝19歳： 内村がその娘の死去に際してとった態度に感銘する一方，自ら母を失い，
大正政変・・1913＝20歳： 続いて父も死去して衝撃受けるなか，東京帝大法科大学政治学科に入学，

ロシア革命・1917＝24歳： 卒業。住友総本店に入社，別子鉱業所に勤務。先輩のキリスト教集会に参加。結婚。

大暴落・・・1920＝27歳： 退職し，新渡戸の後任として，設立間もない東京帝大経済学部助教授に就任，欧米留学を命じられ，
原敬首相暗殺1921＝28歳：

関東大震災・1923＝30歳： 妻が死去。帰国後，教授となり，農学部でも植民地政策を担当。

護憲三派圧勝1924＝31歳： 朝鮮・満州を調査旅行。「殖民政策講義案」出版。再婚。

治安維持法・1925＝32歳： この年，内村鑑三門下生中心とした帝大聖書研究会が発足。

円本時代始・1926＝33歳： *講義をもとにまとめた「殖民及殖民政策」を出版し，論議的になる。

金融恐慌・・1927＝34歳： 台湾調査旅行。

共産党事件・1928＝35歳： 樺太・北海道調査旅行。「人口問題」出版。

世界恐慌・・1929＝36歳： 「帝国主義下の台湾」。この頃，大学をめぐる論議盛ん。葉栄鐘と家庭聖書集会を始める。

海軍軍縮条約1930＝37歳： 信仰の師内村鑑三と親友藤井武が死去したことを契機に，キリスト教伝道を志すようになり，

満州事変・・1931＝38歳：

五一五事件・1932＝39歳： 「マルクス主義と基督教」。満州調査旅行中，列車が盗賊の襲撃に遭遇した際，唯一被害を免れた劇的体験から，神の存在を確信し，活動を開始，月刊{通信}を刊行し，聖書講義の集会を開催。満州を調査旅行。

国際連盟脱退1933＝40歳： 南洋群島調査旅行。

帝人疑獄事件1934＝41歳： 再び，南洋群島調査旅行。「満州問題」や，

芥川直木賞始1935＝42歳： 「南洋群島の研究」出版。

二二六事件・1936＝43歳： 「民族と平和」「イザヤ書」出版。

日中戦争始・1937＝44歳： *「帝国主義下の印度」などで，政府をの植民政策を批判。{中央公論}所収の論文「国家の理想」や，"……この国を葬って下さい"との講演会での言辭が警察当局の問題にするとところとなり，教授を辞任。

健保+総動員 1938＝45歳： *月刊{嘉信}を刊行。一時{嘉信会報}と改称したが，終生これを継続した。

第二次大戦始1939＝46歳： ．また，自宅での聖書講義，キリスト教古典を講じる土曜学校講義を開催。

日米開戦・・1941＝48歳： 情報局が各総合雑誌に内示した執筆禁止者名簿に載るなど，弾圧されるも屈せず，預言者的行動を貫く。

敗戦・・・1945＝52歳： <敗戦>で東大教授に復帰，植民政策を改称した国際経済論を担当。

新憲法公布・1946＝53歳： 「日本精神と平和国家」「内村鑑三と新渡戸稲造」出版。東大社会科学研究所の初代所長。

新憲法施行・1947＝54歳： 「マルクス主義と基督教」出版。経済学博士。

極東裁判決・1948＝55歳： 経済学部長。「帝国主義研究」出版。

三大事件・・1949＝56歳： 教養学部の初代学部長となって，新制東大の基礎固めに尽力。

敗戦後の混乱と虚脱期には国民の自覚と新たな理想を訴え，

独立回復・・1951＝58歳： 総長となる。

反動期になると，教育の自由と自治，軍備全廃と平和の理想を唱えつづけた。一方において反動化する政府の大学への干渉と闘い，他方において過激な左翼学生の攻撃を退けていった。

TV放送始・・1953＝60歳： 「日本のゆくえ」出版。

自衛隊発足・1954＝61歳： 国際経済学会会長。

55年体制始・1955＝62歳： 総長に再選される。

国連加盟・・1956＝63歳：

なべ底不況・1957＝64歳： *退官すると，学生問題研究所を創設。

イヌイトテーマ・1958＝65歳： {橄欖}を廃刊し，会員を整理拡大して{山鳩}を創刊するなど，伝道を続けるが，

安保闘争・・1960＝67歳：

タイタイ病始・1961＝68歳： 胃癌のため，没した。